

学校選択制ブレイク

希望校に偏り・弱まる地域活動

競争効果より副作用

公立校の学校選択制を公約に掲げた橋下徹氏が大阪市長に就いたが、先始めた自治体ではこの制度を見直す動きがある。希望が大きく偏ったり、地域活動の参加者が減ったりと、副作用がわかってきたからだ。橋下氏は「競争による質向上」を促す考えだが、公教育に競争はどこまでなじむのか。

「これでは入学が認められませんが、ルールを守って下さい」。東京都江東区の教育委員会職員はここ数年、数十人の親にこうした説得をして回る。転居を装うなどして、意中の小学校区へ住民票を移すケースが後を絶たないからだ。




2002年度に小中学校で学校選択制を始めた江東区は、一昨年度から小学校の通学先を「徒歩圏内」、昨年度から「徒歩30分以内」に限った。しかし、ルールを破って「越境」を試みる親は絶えない。「児童数が多かたたり、歴史があった

りする学校を『良い学校』とみる風潮がある」と武田正孝学務課長はみる。選択制を見直したのは、希望者の偏りが目立ったことが大きい。全43校(今年から44校)のうち、希望者が多くて抽選になった校数は、02年度の1から08年度は9に、同年度の新入生数は最多の学校が140人、最少は24人だった。

イメージ先行

「格差は、教育の質が生んだのか。区教委が02年度は無視できず、制限が必要

学校選択制の推移

1997年	文部省(当時)が「通学区」の弾力的運用を求め通知	
98	三重県紀宝町が選択制導入	
2000	東京都品川区が選択制を導入し、注目浴びる(写真は若月秀夫教育長①)	
06	安倍晋三首相(当時)②のもとで教育再生会議。翌年、「地域の実情に応じた選択制導入」を提言	
10	東京都江東区、選択制を「徒歩30分以内」に制限	
11	前橋市、選択制を廃止 大阪市長選で選択制導入を公約した橋下徹氏③が当選	

と88年度に、小1の親に学校選びの基準を尋ねたところ、「学校公開・授業参観」の印象を選んだ人は4分の1から5分の1にとどまった。「通学環境やイメージ」といった教育内容とは違う理由で、学習環境の差が生じた。公教育の質が必要

と判断した」と武田課長。人口約6万人の神奈川県逗子市は、今年度から3年間、小学校の選択制を止めた。全5校のうち、バスや電車で通いやすい市中心部の学校に希望が集中したから。加えて中心部の人口増加で、この学校は昨年度までの2年間、学区外

先駆者も模索

一方、東京都品川区教委の和氣正典学務課長は「学

域に限られている。また、公立校の教員や校長は数年で異動するので、学校間の競争による効果は限定的だ。専門家からの視察や地域住民との交流を増やし、外部の目にさらすことで教員の質向上を目指すべきだ。

学校選択制 学校ごとの特色を図る規制緩和の観点や、いじめ・不登校への配慮などから1997年に文部省(当時)が学校区の弾力化を通知。東京都品川区などを皮切りに、各地で広まった。自治府が全国の市と区を調査したところ、体内で通学先を自由に選べる「自由選

制」▽自治体を複数に分けた地域の中で選べる「ブロック制」▽特定の学区だけ学区を廃止する「特認校制」などのタイプがある。2007年内閣府が全国の市と区を調査したところ、導入率は小学14%、中学17%だった。

朝日新聞

2011年12月28日付

即売会
12月11日
朝日新聞
03(3499)8000